

クルーズ船入港時のアクセス対応状況について

仙台港へ寄港するクルーズ船の旅客の利便性を高めることを目的に、公共交通事業者を初めとした関係者が連携し、受入環境整備を促進しています。港から周辺観光地までの移動手段として、クルーズ列車の運行や、仙台駅など主要結節点までのシャトルバス、観光貸切バスなどが措置され、主要観光地へのアクセスが格段に向上しています。

仙台港クルーズ船の概要

入港日：平成30年9月14日（金）
＜函館秋紀行クルーズ＞

船名：飛鳥Ⅱ
船社：郵船クルーズ
総トン数：50,142トン
旅客定員：872人
客室数：436室
（全室海側）
就航：2006年2月



仙台港クルーズ船へのアクセス状況

●仙台港クルーズ船アクセス列車

運行主体：東日本旅客鉄道株式会社
乗入鉄路：仙台臨海鉄道（株）保有の
臨海本線・仙台埠頭線
運行区間：仙台埠頭駅～仙台港駅～陸
前山王駅～松島駅（東北本線）
概要：仙台港から主要観光地へのア
クセス向上を目的に試験運行。
飛鳥Ⅱの乗客約60人を対象と
したツアーで、仙台埠頭駅を
出発し、日本三景松島を訪れる
プラン



【仙台臨海鉄道の貨物線を利
したJR東日本の臨時列車】

●シャトルバス・タクシー



【タクシーの列】



【シャトルバス・貸切バス】